

産業構造審議会第11回産業技術環境分科会 議事概要

■ 書面審議での開催理由

当該分科会では、環境政策は重要な検討課題となっている。グリーントランスフォーメーション推進小委員会は、カーボンニュートラルに向けた、トランジションやグリーンイノベーションによる、企業の成長や産業競争力の強化の方策等について審議するために設置する。審議は、令和3年12月から令和4年度夏までを予定している。

こうしたことに鑑みて、当該分科会においては、当該小委員会を早急に設置し、その議論を開始するため、書面審議を行うこととした。

■ 回答者一覧

大野分科会長、石上委員、石塚委員、石村委員、内山委員、遠藤委員、大津委員、大菌委員、梶原委員、川合委員、小柴委員、五神委員、小林委員、鮫島委員、鳴谷委員、高橋委員、東海委員、長谷川委員、日高委員、細田委員、益委員、村垣委員、山下委員、渡部委員

■ 議題

1. 産業構造審議会産業技術環境分科会下部組織としてグリーントランスフォーメーション推進小委員会を設置することについて

■ 審議期間

令和3年11月26日（金）～11月29日（月）

■ 審議結果

議題について書面審議を行った結果、賛成24、反対0により、グリーントランスフォーメーション推進小委員会の設置が決議された。

■ 意見

- 今後のグリーン成長やトランジションにかかる重要な内容が検討されるものと察します。策定過程、また方策の実施にあたっては、労働組合も含む幅広いステークホルダーとの対話と参加で進められることによって、移行期が公正なものとなることを期待します。
- 政府の方針に賛同します。NEDOとしても、グリーンイノベーションの推進に向けて、引き続き貢献してまいります。

- 消費者・国民ひとりひとりが自然とCNへの意識・行動変容を促されるような産業界のリードのあり方、具体的な方策等についてもご議論いただけると有難く存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。
- グリーンイノベーションは民間企業は主要なステークホルダーであるし、技術の大革新、新しいイノベーションを見越したサイエンスの知識が必要である。このメンバーで果たして有用かつ達成可能な素案が作れるとは正直、思えない。
- エネルギー基本計画では、電力ミックスに関する議論が中心でしたが、最終需要の7割を占める熱の脱炭素化にも着目が必要です。グリーン成長戦略の一つの柱である次世代熱エネルギー産業を含めた議論になることも期待いたします。

お問合せ先

産業技術環境局 総務課

電話：03-3501-1773

FAX：03-3501-7908